

アジア地域官民会議の概要

アジア地域官民会議の開催目的と概要

本会議は、アジアを含む世界的な基準調和への取組みを促進することを目的として、アジア地域における自動車先進国であるわが国が平成10年より開催している。

本会議を通じて、自動車基準調和を推進する世界唯一のフォーラムであるWP29への参加を促し自動車の安全・環境問題の解決と基準・認証制度の国際的な整合化を支援することにより、アジア諸国における道路交通の安全性・環境の保全の向上を図るとともに自動車・自動車部品の開発・生産・認証にかかるコストを低減するなど、アジア地域の健全なモータリゼーションの進展に貢献しようとするものである。

これまでの7回の会議において、WP29への参加、58年協定及び98年協定への加入の重要性が参加各国の共通認識として確認され、これらの実現に向けて活発な討議が行われている。

今回の成果

今回の会合においては、58年協定加盟にあたっての課題、ECE規則採択の方法等について議論が行われた。その結果、

- 1) 58年協定の加盟にあたり、知識の向上を図り、加盟の際に直面している問題を議論していくこと。
 - 2) いくつかの国が58年協定に近い将来の加盟に向けて努力していくこと。
 - 3) WP29の関係者を次回の官民会議に招聘し、意見交換を行うとともに、アジアの声を世界に広める活動の促進を図ること。
 - 4) 今年9月にタイで開催された灯火器の専門家会合が大成功したため、今後も専門家会合を開催していくこと。
- について共通認識が得られた。

参加国及び地域：インド、インドネシア、韓国、シンガポール、タイ、台湾、中国、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、日本、オーストラリア、南アフリカ共和国、
(はオブザーバー)

出席者：各国の自動車関連行政機関（運輸、環境など）関係者
(日本からは、国土交通省自動車交通局技術安全部
技術企画課国際業務室長 他1名が参加)
各国の自動車関連民間団体関係者
自動車工業会
自動車部品工業会 など
(全体で約120名、うち日本から11名が参加)

開催期間：平成15年10月15日（水）～16日（木）

場所：ハノイ（ベトナム）

主催者：自動車基準認証国際化研究センター（JASIC）・ベトナム運輸省登録局

後援：日本国国土交通省

過去の議題：第1回会合（東京） 自動車の認証制度のあり方について
第2回会合（北京） 自動車の基準調和のあり方について
第3回会合（東京） 基準調和と認証の相互承認の実現に向けた行動計画策定について
第4回会合（バンコク） WP29への参加の実現と拡大について
第5回会合（ケラルポール） WP29への参加を阻害する要因及びその解決策について
第6回会合（ジャカルタ） WP29への参加を阻害する要因及びその解決策について
第7回会合（マニラ） WP29の下での基準調和及び相互承認への具体的な課題について